

モロ法相辞任後のブラジルの政治危機が終息する兆し

- 重要閣僚の離脱を受けて大統領の求心力低下への懸念高まるも、ブラジルの政治危機は早くも終息に向かう兆し。
- ボルソナロ政権内での経済政策を巡る対立浮上から、市場ではゲデス経済相の辞任リスクへの警戒姿勢が強まる。
- ボルソナロ大統領はゲデス経済相への全面支持の方針を示す。急浮上した公共投資主導の景気支援策は凍結へ。
- ボルソナロ政権と議会の関係改善が進む兆し。中道政党が政権支持に傾きつつあり、大統領の弾劾リスクは後退。

ブラジルの政治危機が早くも終息する兆し

マンデッタ保健相、モロ法相という重要閣僚の相次ぐ政権離脱を受けて、一時はボルソナロ大統領の求心力低下への懸念が高まったものの、**早くもブラジルの政治危機は終息に向かう兆しが見えつつあります。**

大統領はゲデス経済相への全面支持の方針を示す

金融市場ではゲデス経済相の辞任リスクに対する警戒姿勢が強まりつつありました。重要閣僚の相次ぐ辞任による連想が働いたことや、コロナ危機対応の経済政策を巡って政権内の対立問題が浮上したことが背景です。

政権内の対立の原因は、民間経済の活性化と財政規律を重視するゲデス経済相に対して、大統領府や地域開発相などが公共投資主導の景気支援策(通称「ブラジル版マーシャル・プラン」)を提唱し始めたことにあります。

もともと、ボルソナロ大統領は4月27日に主要経済閣僚との会談の後、「**ブラジル経済についての政策決定を行うのはゲデス経済相ただ一人である**」と述べ、ゲデス経済相を全面的に支持する方針を改めて示しました(図1)。

ボルソナロ大統領は政権内でブラジル版マーシャル・プランの計画凍結を指示したとされており、ゲデス経済相の辞任リスクは大きく後退したと言えそうです。

議会との関係改善から大統領弾劾リスクは後退

また、政治家の汚職を追及してきたモロ法相が政権を離脱したことで、足元ではボルソナロ政権と議会の関係改善が進む兆しがみられます。議会では中道政党がボルソナロ政権支持に傾きつつあるほか、マイア下院議長も大統領の弾劾手続きには慎重な姿勢を示したことで、ボルソナロ大統領の弾劾リスクも後退する傾向にあります。

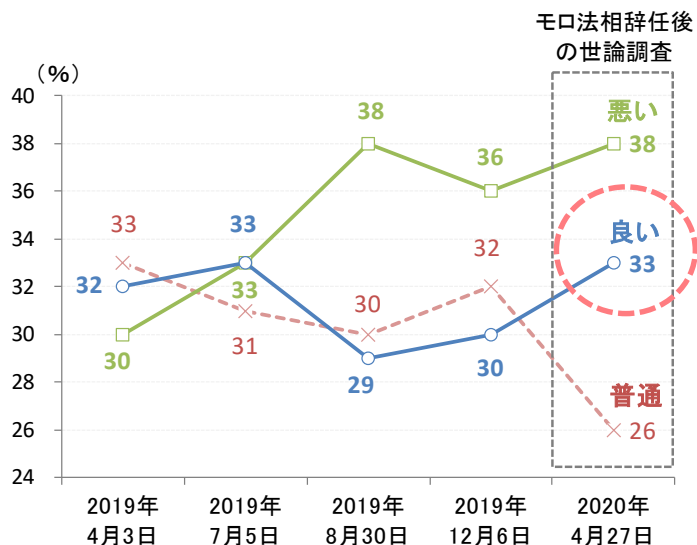
さらに、最新の世論調査では、有権者の約3分の1がボルソナロ大統領を支持していることが示され、ボルソナロ政権の支持基盤は底堅さを維持しているようです(図2)。

図1: 足元でのブラジル政治の主な出来事

4月16日	ボルソナロ大統領が マンデッタ保健相 を解任
4月17日	ネルソン・タイシ氏が新保健相に就任
4月24日	官報で バレイシヨ連邦警察庁長官の更迭 が公表される
	バレイシヨ氏更迭に抗議したモロ法相が辞任表明 連邦警察への政治的干渉を行った大統領を批判
4月27日	モロ前法相が主張した「連邦警察への政治的干渉疑惑」に関して、 最高裁判所が大統領への捜査開始を許可
	ボルソナロ大統領が ゲデス経済相支持の方針 を示す (ボルソナロ大統領)「 ブラジル経済についての政策決定を行うのは、ゲデス経済相ただ一人である 」
	マイア下院議長が「 今はボルソナロ大統領への弾劾手続きを開始すべき時ではない 」と慎重な見方を示す

(出所)各種報道

図2: 世論調査によるボルソナロ大統領への評価



(出所)世論調査会社Datafolha

●当資料は、説明資料としてレグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社(以下「当社」)が作成した資料です。●当資料は、当社が各種データに基づいて作成したものです。●当資料に記載された過去の成績は、将来の成績を予測あるいは保証するものではありません。●当資料に記載されている見解、目標等は、将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。●この書面及びここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。●当資料は情報提供を目的としてのみ作成されたもので、証券の売買の勧誘を目的としたものではありません。